

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業計画シート						所管課		高齢者福祉課		担当班	高齢者班	
事務事業名		コード	74100	地域介護予防活動支援事業	予算科目	会計		款	項	目	事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	27	高齢者福祉の充実	根拠法令	介護		5	2	1			
	施策の展開	51	介護予防の推進	戦略事業	239	地域介護予防活動支援事業						
	施策の展開			戦略事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		平成18年度の介護保険制度改正時に地域支援事業が創設された。その内の一つである地域介護予防活動支援事業は、地区組織の育成・支援を目的としており、これまで民生委員や保健推進員など地区組織に対する介護予防教室や講演会を実施してきた。平成27年度の制度改正で、介護予防・日常生活支援総合事業がスタートし、市独自の多様なサービスが実施可能となった。地域のボランティア・介護予防のリーダーとして、高齢者の通いの場をサポートする、介護予防サポーター養成講座を、旭中央病院リハビリテーション科ほか関係機関の協力のもと開催している。	
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化	
地域づくりに資する既存の地区組織等の育成・支援とともに、平成27年度から新規に介護予防サポーター養成講座(初級編)を1コース開催している。		介護予防サポーターの養成を開始したばかりであり、今後の活動・育成など未確定の事項がある。また教室開催にあたり、関係機関との連絡調整が必要。	
		⑤事務事業に対する住民からの意見等	
		27年度受講者アンケートでは「学ぶことができて良かった」「都合がつけばボランティアとして協力したい」という意見が多く聞かれた。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1. 報償費			千円			51		23
2. 需用費	244	講師謝礼等	千円	81	175	303	244	164
3. 備品購入費	47	消耗品(パンフレット、健康教育教材等)	千円	22		117	47	
		プロジェクター、ポータブルプレイヤー等	千円					
		賞金等	千円					
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1. 国庫支出金	73	地域支援事業交付金	千円	103	175	471	291	187
2. 都道府県支出金	36	地域支援事業交付金	千円	26	44	117	73	47
3. 地方債			千円	13	22	58	36	23
4. その他	115	地域支援事業繰入金・地域支援事業支援交付金	千円	42	71	185	115	74
			千円	22	38	111	67	43

前年度増減理由	介護予防用備品購入費の減少
---------	---------------

従事職員数 常時 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

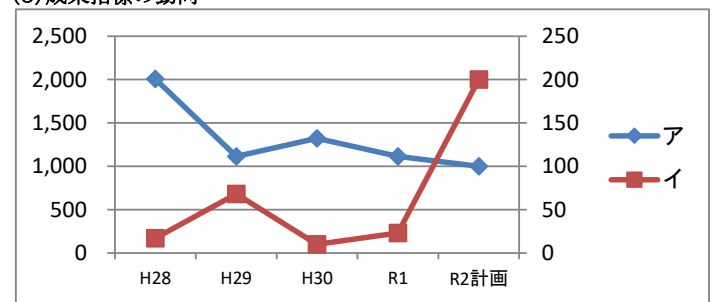
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)	ア 講座・研修会の開催回数	回	72	73	76	58	50
目的	介護予防サポーター養成講座初級編・中級編各1コース実施。通いの場対上げ支援や通いの場1年経過した団体15か所に、体力測定と健康教育を実施。市内通いの場全体大会を実施。	イ 介護予防サポーター養成講座(初級編)受講証授与人数	人	20	10	8	13	10
	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
対象	地区組織や住民	ア 地域活動組織の育成・支援講座参加者数(延べ人数)	人	2,007	1,115	1,323	1,116	1,000
	意図 高齢者が安心して地域で暮らせるように、住民同士が支え合う地域づくりを行う。	イ 介護予防サポーターが地域で活動した回数(延べ)	回	17	68	10	23	200
対象	介護予防サポーター養成講座受講者							
	意図 高齢者を対象にした地域のサロンを自主的に開催したり、市主催の教室等で活動することができる。							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
			②	
普通				
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
			(2)	
②				
③				
④⑤				
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値減＝成果向上	数値増＝成果向上
	【コメント】(低下の場合、その理由)					
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		比較		
	R2.4～	通いの場活動自粛中の体力低下予防のための運動継続の呼びかけ。介護予防サポーター養成講座初級編の開催		現状維持 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他() ☐		